



図書館だより

105号



令和7年11月7日
秋草学園短期大学図書館

絶賛☆読書週間中！（10月27日～11月9日）

今年の読書週間は何を読んでお過ごしですか？ 実習期間と近くて読書を楽しむ余裕なんて欠片もない、という恨み節が聞こえてくるようですが、今年の読書週間の標語は「こころとあたまの、深呼吸。」です。[めまぐるしい日常に息が詰まるとき、私は本を開きます。心が震え、ため息をつく。ハッと気が付き、息をのむ。ひと息ついて、まためくる。そうしてこころとあたまに酸素が満ちたら、どこまでも遠くへ泳いでいける気がします。]ということから、この標語がつくられたそうです。日々忙しい皆さんには共感できる標語でしょう。さあ、忙しい時こそ、深呼吸をいたしましょう！どこまでも行ける力が、あなたにはあります。

本にちなんだイベントはしばらく続きます。12月には図書館と県民のつどい埼玉（12月14日〔日〕）もあります。「おすすめの絵本の展示」や「わらべうた実践講座」など、気になる人はぜひ参加してみてください。

[図書館と県民のつどい 埼玉 2025・埼玉県図書館協会]

長期貸し出しのお知らせ

幼稚園実習長期貸し出し 開始日 10月27日（月） 返却日 11月27日（木） 8冊

冬休みの長期貸し出し 開始日 12月10日（水） 返却日 1月7日（水） 5冊



今の特集・・・『祝！女性内閣総理大臣 特集』

2025年10月、女性初の内閣総理大臣が誕生しました！ 高市早苗総理。（ここ、将来テストに出ますからね！） 2025年のジェンダーギャップ指数は、調査対象148カ国中、118位だった日本。女性管理職比率はわずか11.1%、管理職が全員男性の企業は42.3%、という我が国では、奇跡のような存在に思えます。内閣総理大臣と管理職を同一に語ることは出来ませんが、活躍する女性が今後より一層輝ける社会になると、希望を持てる出来事です。皆さんも自信を持って各分野に進出し、成果をあげていきましょう。

高市早苗著作リスト（これ以外もあります。読みたい本は、カウンターまでリクエストをお願いします）

『日本を守る 強く豊かに』 ワック

『国力研究 日本列島を、強く豊かに』 産経新聞出版

『日本の経済安全保障 国家国民を守る黄金律』 飛鳥新社

『ハト派の嘘』 櫻井よしこ共著 産経新聞出版

『美しく、強く、成長する国へ。』 ワック

- 『魔法少女はなぜ世界を救えなかったのか？』 ペク・ソルフィ ホン・スミン 著／晶文社 【367.1-ペ】
…これまで、ディズニーのプリンセスはプリンスによって困難を克服してきました。今では、仲間と共に世界を救う存在になり大人気です。一方、魔法少女達は正義の戦いより、おもちゃ販売が主となり…。
- 『「女子」という呪い』 雨宮 処凛 著／集英社 【367.2-7】
…女子というだけで様々な形の呪いに縛られています。呪いを解いて、自分らしく生きてみませんか。
- 『成瀬は天下を取りに行く』 宮島 未奈 著／集英社 【913.6-ミ】
…滋賀県大津市膳所[ぜぜ]在住の成瀬は、マイペースかつ壮大なスケールで生きています。突飛に見えても筋が通っていて、友人島崎とM-1 グランプリに出たりもします。膳所から世界へ！活躍に注目です。

今の特集本は、カウンターにある「今月のおすすめ」コーナーに置いてあります。



～図書館職員が選ぶ～

今月のピカッと光る一冊



『皇后の碧』 みどり 阿部 智里 著／新潮社／913.6-ア

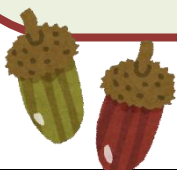
人気の本屋大賞は10月30日までに出版された本を対象に、書店員の投票によって翌年の4月に決定します。自分が今年読んできた本の中で、本屋大賞に選んで欲しい本ナンバー1、それがこの本です。

エリンは幼いころ火竜の襲撃を受け滅んだ土の国の精霊です。両親も火竜の襲撃の際に亡くしました。たまたま風の精霊の王、孔雀帝に保護されたエリン。周囲は風の精霊ばかりの環境でも、必死に働き生きています。物語は風の精霊を支配する虫の精霊の王・蜻蛉帝に連れられたエリンが、虫の精霊の王城へ入ることから動き出します。

荻原規子に上橋菜穂子といった素敵な日本ファンタジーを読んで育った阿部さんが、好きなものを、好きなだけ盛り込んで、好きなように書いた物語というだけあって、様々な種類の妖精や煌めく宝石そしてミステリーに少女の成長と、ワクワク要素がてんこ盛りです。だからこそファンタジーの世界であっても現実の私たちに訴える、そして可能性を見せる力のある作品となっています。

世界は思う以上に残酷かもしれないけれど、やり方さえ心得れば、思った以上に振るえる力が私たちにもあるのかもしれない、そう希望が持てる物語です。

推薦者 鈴木



貸出ランキング ～9・10月～



貸出回数	書 名	著 者 名	出 版 社
3回	どんぐりどんぐり	エドワード・ギブス 作	光村教育図書
3回	おちば	おーなり 由子 文	ほるぷ出版
3回	はらぺこあおむし 改訂新版	エリック・カール 作	偕成社
3回	おばけくんのハロウィン	新井 洋行 作・絵	KADOKAWA
3回	Egg Babies	かんざわ としこ 文	福音館書店
3回	びじゅつかんへいこう	ピーター・レイノルズ	国土社

※貸出回数が同数のものが複数冊あったため、その中から司書がピックアップしました。

編集後記



長崎出身で映画「遠い山なみの光」の原作者で日系英国人のノーベル文学賞受賞作家カズオ・イシグロさんが、チャールズ英国王からコンパニオン・オブ・オナー勲章を授与されました。その際、AIについて二人は語り合ったとのこと。イシグロさんの『クララとお日さま』早川書房では、AIを搭載した少女型ロボットのクララが語り手で、持ち主のよき友でした。読み返した私も、久しぶりの友に会えた気分です。

次号の『図書館だより』は2026年1月に発行予定です。バックナンバーはこちら→
担当 鈴木

